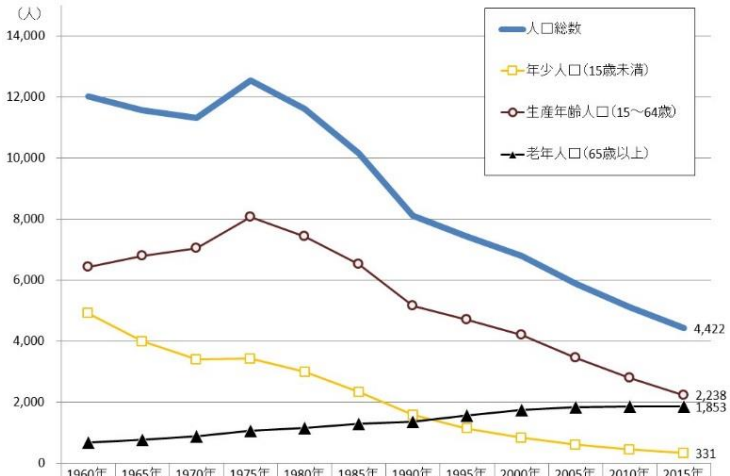
第 2 期福島町人口ビジョンの概要

1　人口の現状とこれまでの推移

福島町の総人口、年齢 3 区分別人口の推移



	1960年 (S35)	1965年 (S40)	1970年 (S45)	1975年 (S50)	1980年 (S55)	1985年 (S60)	1990年 (H2)	1995年 (H7)	2000年 (H12)	2005年 (H17)	2010年 (H22)	2015年 (H27)
人口総数	12,038	11,572	11,334	12,562	11,613	10,159	8,111	7,430	6,795	5,897	5,114	4,422
年少人口（15歳未満）	4,919	4,000	3,401	3,425	2,999	2,338	1,585	1,142	840	607	446	331
生産年齢人口（15～64歳）	6,432	6,804	7,038	8,072	7,445	6,530	5,164	4,710	4,205	3,456	2,796	2,238
老年人口（65歳以上）	687	768	895	1,065	1,169	1,291	1,362	1,578	1,750	1,834	1,872	1,853

※国勢調査

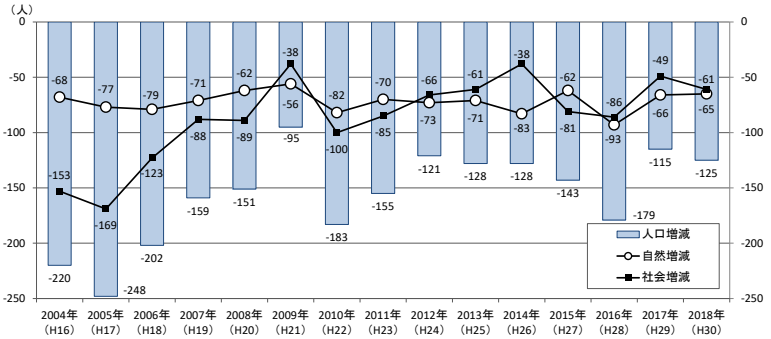
●当町の人口は、1955 年（昭和 30 年）の 13,428 人をピークに減少に転じている。

●青函トンネル工事開始後は一時増加に転じたが、青函トンネル完成後は、一気に転出が進み大幅減少となった。

●その後も減少傾向は続いており、2015 年（平成 27 年）には、4,422 人とピーク時の 6 割以下となっている。

2　人口増減に関する分析

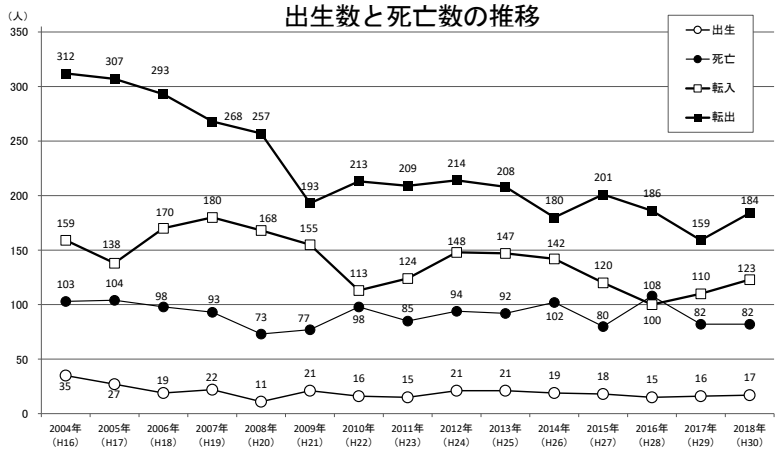
人口増減と自然増減、社会増減の推移



●自然増減（出生数-死亡数）は「死亡超過」、社会増減は（転入-転出）は「転出超過」の状況が続いている。

●また、自然増減よりも社会増減の方が多く、人口減少に影響を与えている。

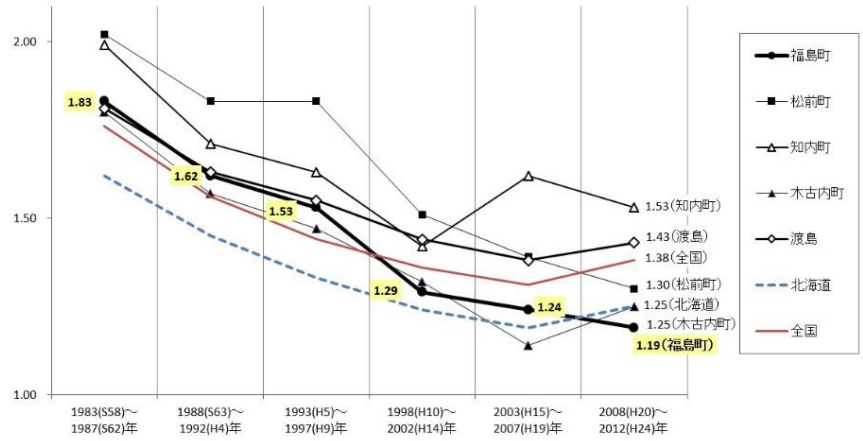
出生数と死亡数の推移



●2004 年（平成 16 年）から 2018 年（平成 30 年）の推移は、2,296 人減少しており、1 年間で約 153 人が減少し続けている状況となっている。

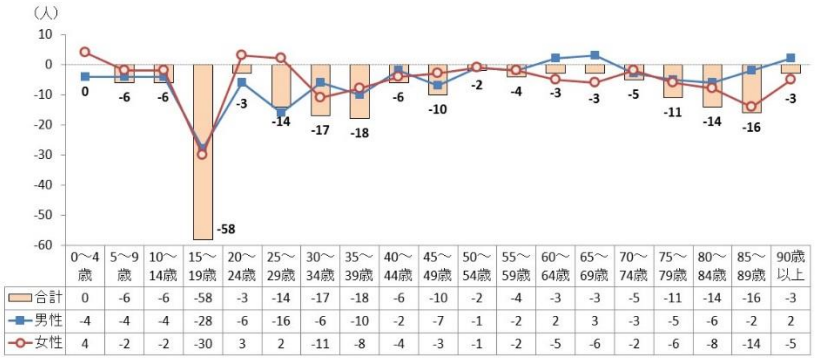
※住民基本台帳（2012 年までは 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日、2013 年以降は 1 月 31 日～12 月 31 日。また、2012 年からは、外国人含む。）

合計特殊率（ベイズ推定値）の推移と比較



●当町の合計特殊出生率は、全国や北海道、近隣市町の平均と比較すると低い数値となっている。

※人口動態保健所・市町村別統計（厚生労働省）



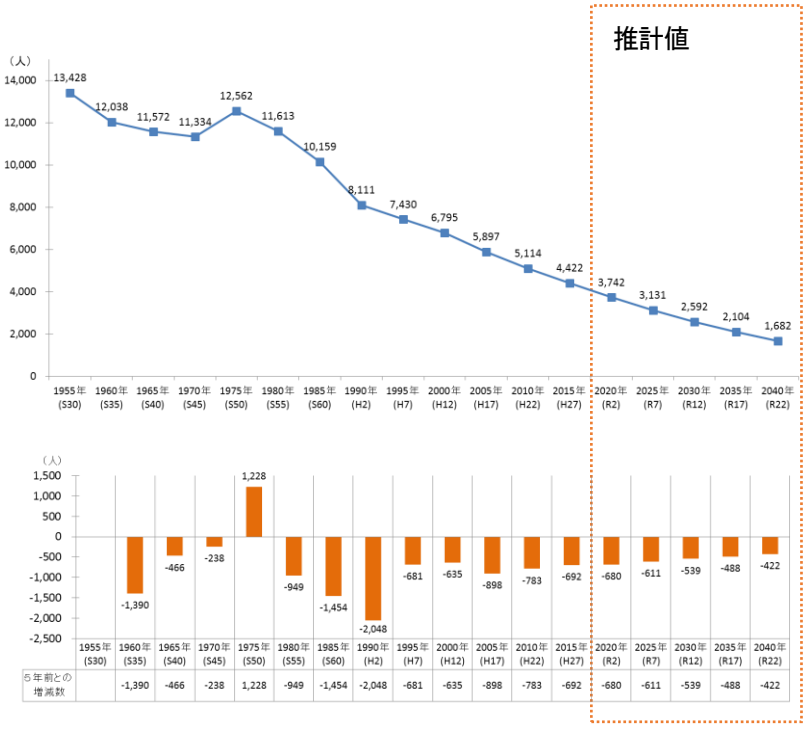
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
合計	0	-6	-6	-58	-3	-14	-17	-18	-6	-10	-2	-4	-3	-3	-5	-11	-14	-16	-3
男性	-4	-4	-4	-28	-6	-16	-6	-10	-2	-7	-1	-2	2	3	-3	-5	-6	-2	2
女性	4	-2	-2	-30	3	2	-11	-8	-4	-3	-1	-2	-5	-6	-2	-6	-8	-14	-5

●2015 年（平成 27 年）から 2018 年（平成 30 年）の 4 年間の合計でみると、15 歳～19 歳の転出が特に多くなっている。

※住民基本台帳人口移動報告（総務省統計局）日本人の国内移動分。1 月 1 日から 12 月 31 日

3　将来人口の推計

総人口の推移と将来推計



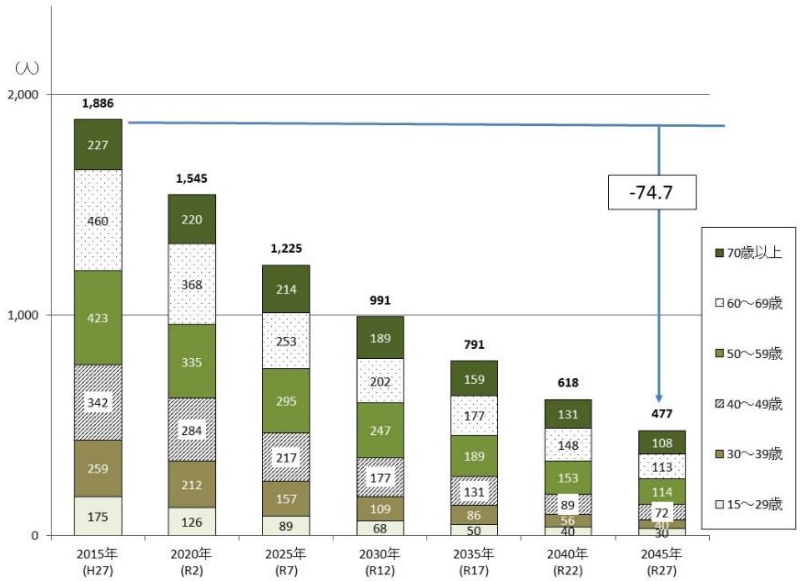
●国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の推計によると、今後、何も対策を講じない場合には、2040 年（令和 22 年）の人口は 1,682 人となる。

2015 年　　4,422 人

2040 年　　1,682 人

4　人口の減少が地域の将来に与える影響の分析

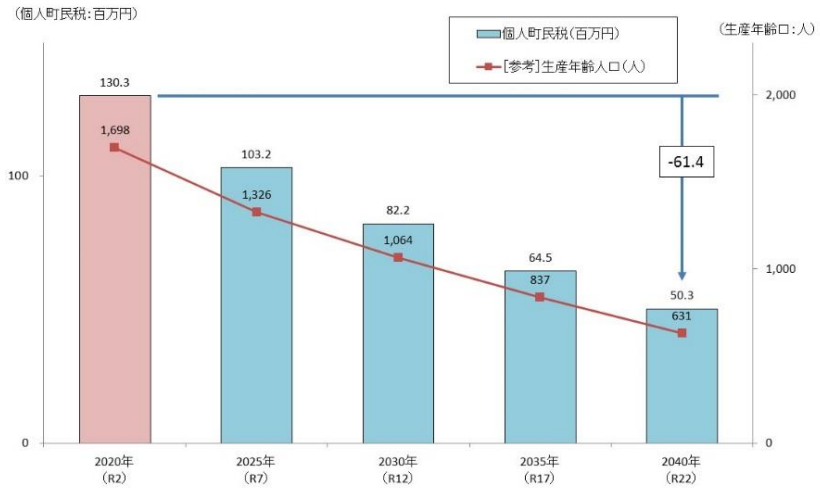
年齢階層別就業者数の将来推計



●【就業人口の減少】

2015 年（平成 27 年）の年齢階層別の就業率を基に推計すると、2040 年（令和 22 年)には現在の就業者数から 74.7%減少するものと推計される。

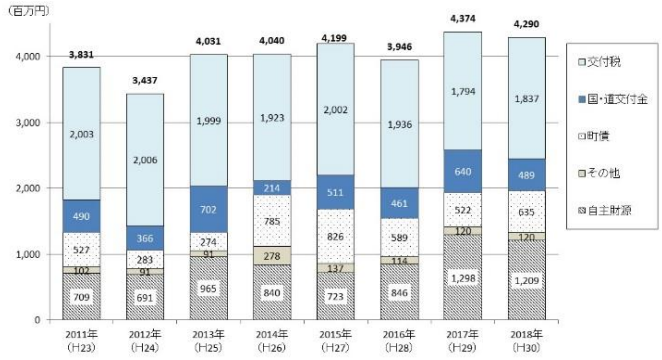
個人町民税額および生産年齢人口の推移



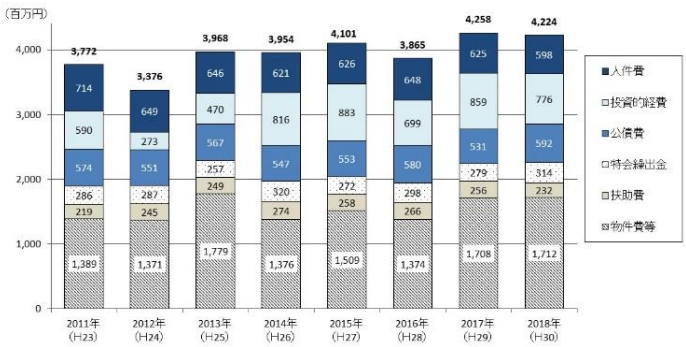
●【税収の減少】

当町の個人町民税について、2015 年（平成 30 年）の税収を基に今後の推計をすると、2040 年（令和 22 年）には現在の税収額から 61.4%減収すると推計される。

歳入決算額の推移

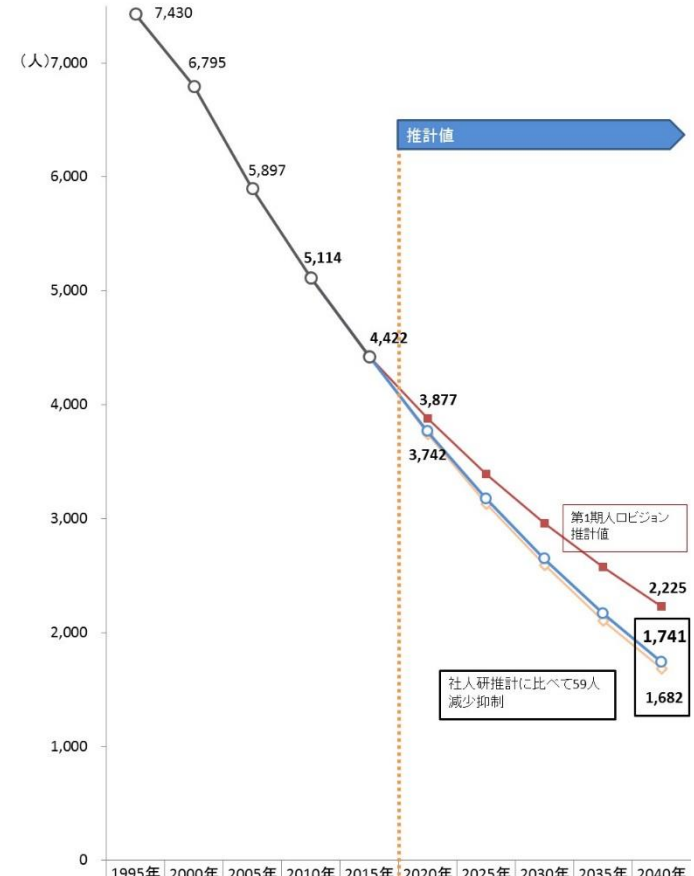


歳出決算額の推移



５　人口の将来展望

社人研推計と福島町がめざす推計の比較（総人口）



	1995年 (H7)	2000年 (H12)	2005年 (H17)	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (R2)	2025年 (R7)	2030年 (R12)	2035年 (R17)	2040年 (R22)
社人研推計				5,114	4,422	3,742	3,131	2,592	2,104	1,682
福島町がめざす推計（第1期）				5,114	4,422	3,877	3,388	2,958	2,573	2,225
福島町がめざす推計（第2期）				5,114	4,422	3,763	3,173	2,645	2,168	1,741
国勢調査実績値	7,430	6,795	5,897	5,114	4,422					

●当町がめざす推計では、2040 年（令和 22 年）の時点で総人口は 1,741 人と推計され、社人研推計に比べて約 60 人の減少を抑制することが可能となります。

●推計の考え方

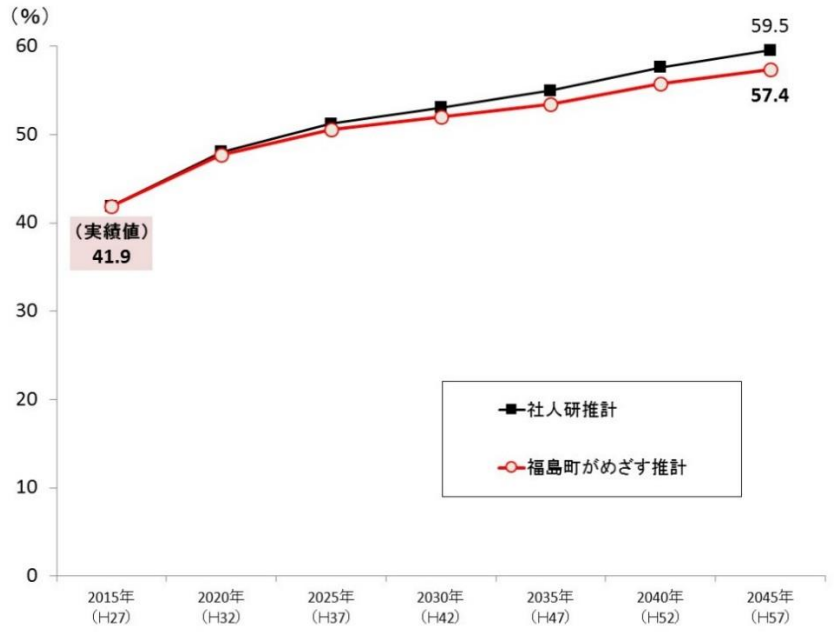
2015 年（平成 27 年）国勢調査をベースに、次のような考え方により「合計特殊出生率」と「変化率」を設定。

■合計特殊出生率 ： 現状値を踏まえ、国の長期ビジョンを勘案して設定。

「1.19」となっている現状値を、2020 年（令和 22 年）に国と同率の「1.60」とし、それ以降は同率とする。

■変化率 ： 社人研の移動率に準拠。純移動率については、社人研推計に準拠。

老年人口比較等の将来展望



●当町がめざす推計では、2040 年（令和 22 年）の時点で老年人口比率は 57.4%と推計され、社人研推計に比べて約 2.1%の上昇を抑制することとなります。